

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	日本及び世界の水資源確保のための情報の体系的な収集・提供システムの整備に要する経費		担当部局庁	水管理・国土保全局 水資源部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H21/H23		担当課室	水資源計画課		課長 宮崎 正信	
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内外の総合水資源管理に関する情報を収集・共有するため、水資源の情報を定量的に把握するためのデータベース、情報の所在を明らかにする仕組みであるクリアリングハウス、情報のモニタリング体制を確立するとともに、施策の効果や影響なども含めた各種情報を分かりやすく提供できるようなシステムを構築することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	流域の関係者が流域全体の水量・水質の状況を把握し、流域の関係者間の合意形成を可能とするため、水資源情報を蓄積するデータベース、一元的に把握するクリアリングハウス、情報のモニタリング体制を確立した。また、総合水資源管理を促進するため、諸外国の総合水資源管理に関する情報を収集・共有する体制を構築した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	53	35	13		
		繰越し等	88	-			
		計	-	-			
	執行額	141	35	13			
	執行率(%)	139	26	12			
98.2	74.2	86.3					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	渇水影響度 (渇水による影響を、取水制限率と取水制限日数との積で表したもの)		成果実績	7,259日・%	2,255日・%	4,833日・%	5,300日・% (23年時点の過去5年平均)
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	情報提供システムの調査検討分野数 ※分野: 国内流域の水資源に関する情報 海外の水に関する情報 総合水資源管理に関する事例情報		活動実績 (当初見込み)	2	3	3	-
					(3)		-
単位当たりコスト	4(3.85百万円/分野)		算出根拠	実績額:23年度実績額 11.55百万円 分野数:23年度分野数 3分野			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国内外の総合水資源管理に関する情報を収集・共有するため、水資源の情報を定量的に把握するためのデータベース、情報の所在を明らかにする仕組みであるクリアリングハウス、情報のモニタリング体制を確立するとともに、施策の効果や影響なども含めた各種情報を分かりやすく提供できるようなシステムを構築する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約手続きについては、競争性の高い方式(総合評価落札方式)により相手方を決定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	流域の関係者が流域全体の水量・水質の状況を把握し、流域の関係者間の合意形成を可能とするため、水資源情報を蓄積するデータベース、一元的に把握するクリアリングハウス、情報のモニタリング体制を確立した。また、総合水資源管理を促進するため、諸外国の総合水資源管理に関する情報を収集・共有する体制を構築した。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		・民間企業との契約については、一般競争入札による契約手続きを行うことにより、効率的・効果的で透明性を確保した予算執行を図った。	
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
		なし	
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	143	平成23年行政事業レビュー	197

※平成23年度実績を記入

国土交通省
12百万円

各業務の発注及び監督

【一般競争入札】

A. 民間企業(1社)
12百万円

総合水資源管理のための
情報共有検討業務

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
直接原価	直接人件費、直接経費	5			
その他原価	その他原価	3			
一般管理費	一般管理費	3			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ株式会社	総合水資源管理に関する情報共有・提供システム運用検討業務	12	3	87.1
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					